

よしの川

第100号 2023年10月1日発行

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24
TEL (088)602-0151 FAX (088)602-0152

「まなびの森講演会150回を迎えて」



徳島学習センター所長 橋爪 正樹

2023年1学期に放送大学をご卒業された皆様、ご卒業おめでとうございます。大学卒業は一つの節目にはなりますが、生涯学習はずっと続くものなので今後も継続して学習されることを祈念致します。また2023年2学期に入学された皆様、入学おめでとうございます。再入学された方々も心機一転新たな学びに挑戦して頂ければと思います。

さて徳島学習センターでは「まなびの森講演会」を徳島県立図書館で県立図書館との共催で月1回のペースで2009年（平成21年）4月から開催しています。その講演会は放送大学の学生さんだけでなく放送大学の学生でない一般の方も聴講可能な一般向け講演会です。

そのまなびの森講演会は6月17日（土）に150回目を迎え、徳島大学名誉教授石田啓祐先生に「阿波の地層をグローバルに追う」という演題で講演していただきました。150回目を迎えたと言うことで、大西徳生元所長をお招きし、講演に先立ちご挨拶を頂きました。そこでまなびの森講演会では中條信義先生が所長されていた時に始まり大西先生が引継いで今の形となったことや、当時の印象に残る講演をご紹介されました。その講演会は徳島新聞の取材を受け、翌日の徳島新聞にも掲載されました。その内容は放送大学ウェブページの「トピックス」-「報道・ニュースリリース」のページにアップされていますのでご覧ください。

その講演会はコロナ禍で中止となった時もありましたが、聴講者数を会場定員より大幅に減らして継続して開催しています。その講演会では主に徳島県下の大学の先生に講演をお願いし、徳島の文化や歴史以外に、人口減少の原因解明などの社会問題や防災、化学反応を促進する触媒やアミノ酸などの理系のものまで講演していただいています。たとえば2023年11月18日（土）には、今、TVや新聞で話題となっているChatGPTを代表とする生成型AIに関する講演も予定しています。また徳島県立図書館では各講演に関係する蔵書も特別に紹介しており、聴講し興味がわきさらに詳しく知りたい人はその蔵書を借りて読めるよう配慮してい

ただいています。

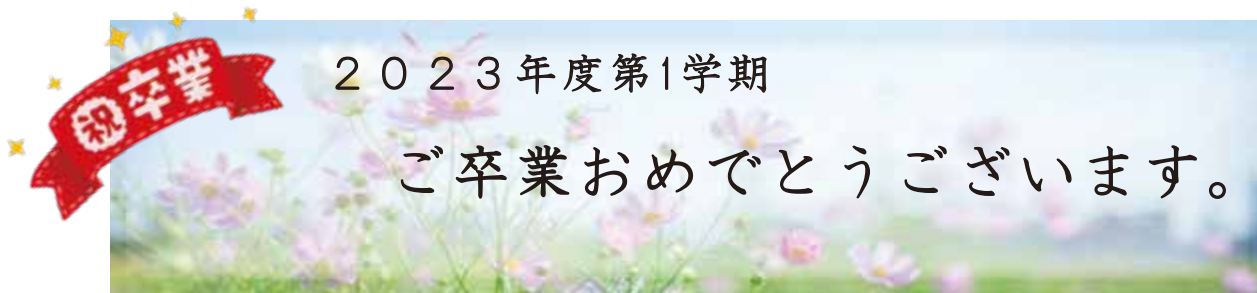
徳島県では生涯教育の場として県立総合大学校「まなびーあ徳島」を設置し、徳島に関する自然、文化、地理、歴史など地域に根ざした専門的な知識を学び理解を深めたかたに「とくしま学博士」という称号を与えています。徳島学習センターではその取り組み推進も兼ね、まなびの森講演会ではとくしま学博士にも講演をお願いしております。8月19日（土）に開催したまなびの森講演会ではとくしま学博士 阿部 隆 先生にご講演いただきました。そこでは、徳島県を流れる吉野川、徳島市にある阿波十郎兵衛屋敷に関する講演が行われ、吉野川は「暴れ川」と「母なる川」のまったく異なる顔をもつこと、また徳島市にある十郎兵衛屋敷の住人の板東十郎兵衛と十郎兵衛を題材に作られた人形浄瑠璃「傾城阿波鳴門」の十郎兵衛とはまったく異なる顔をもつことを時代の背景とともに紹介されました。とくしま学博士にはそのような徳島県民にとって非常に身近な話題を提供していただいています。

まなびの森講演会は放送大学の地域貢献の一つとして位置づけられ、地域にも知られるようになり、今回、発行から100号となった機関紙「よしの川」と同様に今後も継続する予定ですので、時間があればご参加ください。聴講して帰る時には少し賢くなった自分を感じることができ生涯学習の醍醐味を味わうことができますのでご参加をお勧めします。また徳島学習センターでは放送大学の学生やOBが将来とくしま学博士となりその講演会での講演されるように、「まなびーあ徳島」との単位互換制度を締結しています。そこではその講演会の聴講以外に放送大学の単位取得により「まなびーあ徳島」の単位が申請により取得できるようになっています。詳しくは徳島学習センターにお問い合わせください。



「まなびの森講演会」150回記念で大西元所長にあいさついただきました。

「よしの川」100号記念 特集号



2023年1学期で18名の方が卒業されました。

新たに学位記を授与された皆様にセンター職員一同お慶びを申し上げます。

☆教養学部☆

生活と福祉コース 網干 美里さん、野中 韶夫さん、（他3人）

心理と教育コース 梶 剛三さん、新居 美沙さん、岡嶋 和代さん（他2人）

人間と文化コース 岡本 満雄さん、奥山 史紹さん、横山 清文さん、
貝塚 美和さん

情報コース 粟飯原 良造さん、原 英美さん、（他1人）

自然と環境コース 1人

2023年1学期で 2名の方に名誉学生の称号が贈られました。

長年のご努力に心より敬意を表します。おめでとうございます。

粟飯原 良造さん、原 英美さん

9月24日、学習センターにて学位記授与式を行いました。



卒業生からのメッセージ ~卒業生の方からメッセージが寄せられました。~

【順不同】

今回の卒業で教養学部の6コースを卒業できたこととなります。2001年度に放送大学入学して23年かけて卒業しました。心理学が専門ですが、専門以外のコースの学びが、心理学に役立ちました。

途中で体調を崩したり、アナログ人間なのにパソコンを使った単位認定試験受験に四苦八苦しましたが、何とか卒業にたどり着けました。本当にありがとうございました。

【情報コース 粟飯原 良造】

17年前、20代の時に通信制高校に入学。学び直しを開始しました。現在43歳で、いつの間にか経営者になっていました。学び始めたときは一介の介護職員であり、時の流れにびっくりするとともに、何事も努力することが苦手だった自分がここまでできたことが感無量です。人として一番大切なことは、毎日地道にコツコツ続けることだと学んだ17年間でした。

【人間と文化コース 奥山 史紹】

「えっ、卒業してしまった」

今回、最も重点を置いていたのは、他県への面接授業を受講することである。この6学期中はコロナウィルス禍で 対面授業の中止、自宅等でのWeb 単位認定試験となり、コロナ禍以前での学習経験からするとまったく物足りない。けれども、卒業できたのだから、気分一新して再入学し、面接等で直接に担当教官の指導を受けられたらと考えを新たにしているところである。

【心理と教育コース 梶 剛三】

それまでに大学の講義にあこがれていた私は70歳で現役を退いたことを機に、放送大学に入学しました。その時は続ける自信がなかったので科目履修生として入学、2学期目からは全科履修生に変更しました。修学単位 124単位は、遥か彼方でしたが放送をICレコーダーに録音しどこでも聞くなどして6年半、この度何とか卒業することができました。今、本棚に並ぶ印刷教材を眺めたとき、どの科目にも思いがあり、感無量です。

【人間と文化コース 横山 清文】

2002年2学期に入学してから、最初の卒業は8年かかっていました。この時6コース卒業「グランドスラム」とよばれ「名誉学生」のことを知りました。

今回21年かかって6コースの卒業ができることになりました。

ご指導ご支援いただいた皆様には、たいへんお世話になりました。深く感謝いたします。

【情報コース 原 英美】



放送大学に入学して気が付くともう12年たってしまい、その間に1)自然と環境2)情報3)社会と産業4)人間と文化、と4回卒業しました、私は定年退職後に特に趣味もなく、学生時代にやり残した数学と物理の勉強をもう一度やり直したいと思って入学しました。これからは5)心理と教育に籍を置きながら、入学時に勉強したいと思っていたガロア理論(群論)とかC言語のプログラムなどを主にもう一度勉強してみたいと思っています。

【生活と福祉コース 岡本 満雄】

高校生の頃、家庭の事情で国立の専門学校へ進学しました。あれから約25年を経過し、子供が受験となりました。やる気のない子供に親の背中をみせてやるつもりではじめた勉強でしたが、今は学習することの楽しさを感じています。面接授業で出会った同じ志を持つ仲間が友となり、他県の方とのネットワークが広がり、放送大学へ入学してよかったと思っています。単位認定試験が自宅のできるのも、手軽だしリラックスできたのでよかったです。

【心理と教育コース 新居 美沙】

長い間、学生生活をご指導ご支援賜りまして本当にありがとうございました。

【生活と福祉コース 卒業生】

私が放送大学に入学したときは 徳島大学工学部に学習センターがありました。最初は学び方がわからず学友との出会いもなく、単位取得できずに除籍や中退した事もありました。

20年程の長い期間を経てやっと卒業することとなりました。仕事や介護で中断してもあきらめず再入学して卒業できるのも、学習センターで知り合った学友や面接授業等での先生方のご指導のお陰です。たいへん長い道のりでしたが教職員の皆様お世話になりました。

【人間と文化コース 貝塚 美和】

大変お世話になりました。無事卒業することとなりました。

センター窓口の方々の親切な対応、自分のペースで学習ができ、楽しく勉強することができました。

引き続き、様々なことにチャレンジしていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

【生活と福祉コース 卒業生】

面接授業追加登録のお知らせ

第2学期面接授業 徳島学習センター開設科目

★印の科目は日程の都合上 追加登録はできません

科目		科目名	講師名	定員	日程	不測の事態発生時
基盤	外国語	米国文化を楽しみながら学ぶ英語 ★	内山 八郎	20名	10月14日（土）15日（日）	Web
基盤	外国語	ベトナム語初歩と文化理解 ★	Tran HoangNam	20名	10月21日（土）22日（日）	Web
専門	生活と福祉	がん手術療法を受ける患者の体験 ★	板東 孝枝	20名	10月21日（土）22日（日）	閉講
導入	人間と文化	教養としての音楽	川内 由子	20名	10月28日（土）29日（日）	Web
専門	心理と教育	心理学実験2	高原 光恵	15名	11月04日（土）05日（日）	閉講
専門	心理と教育	心理学実験1	甲田 宗良	20名	11月11日（土）12日（日）	閉講
導入	社会と産業	実験で楽しむエレクトロニクス	芥川 正武	15名	11月18日（土）19日（日）	閉講
専門	人間と文化	宮沢賢治という人と文学	構 大樹	20名	11月18日（土）19日（日）	Web
専門	生活と福祉	暮らしを支える地域・在宅看護論	山下 留理子	20名	11月25日（土）26日（日）	Web
専門	人間と文化	古代中国の社会と漢字	宮本 徹	20名	11月25日（土）26日（日）	閉講
導入	自然と環境	プラスチックの科学	南川 慶二	20名	12月02日（土）03日（日）	Web
専門	生活と福祉	脳卒中と寝たきり予防	南川 貴子 岩瀬 司	20名	12月02日（土）03日（日）	Web
専門	人間と文化	源氏物語を読む	田中 智子	20名	12月09日（土）10日（日）	Web
専門科目	人間と文化	瀬戸内海地域とことば	峪口 有香子	20名	12月16日（土）17日（日）	閉講
専門科目	自然と環境	四国の地層をグローバルに追う	石田 啓祐	20名	12月16日（土）17日（日）	Web

面接授業追加登録の流れ

①空席状況を確認する。

＊時間割表発行後に、日程や会場が変更されている科目もあるので、必ずWAKABAにてシラバスを確認する。

②開催する学習センター窓口へ申請する

③科目登録決定通知を受け取る



面接授業 空席発表

10月14日（土） 12:00発表

空席状況は学習センターにて掲示、放送大学ホームページでも公表します。

【システムWAKABAログイン→面接授業（第2学期）→お知らせの「空席状況のお知らせ」】

・10月19日（木）15時以降はシステムWAKABAで空席状況をリアルタイムで確認することができます。

【システムWAKABAログイン→教務情報→

科目登録申請→空席照会→希望の科目を検索】

面接授業 追加登録

10月19日（木） 受付開始

※原則として開講日の1週間前まで登録できますが、満席になり次第締め切ります。（前ページの表の★印の科目は追加登録できません。）

①センター窓口での申請

- ・学生証、・授業料（1科目¥5,500）
- ・面接授業科目追加登録申請書（HPでダウンロード可、学習センターにもあります）の3点です。（空席数より希望者が多い場合、抽選）

②郵送での申請（郵送受付は追加登録開始2日前から受付期限日の閉所時間までに必着）

- ・面接授業科目追加登録申請書
- ・学生証のコピー（申請書に貼付してください）
- ・授業料（登録科目数×¥5,500）
- ・返信用封筒（長形3号、宛名を明記し、**84円切手を貼付**）

以上4点を同封のうえ、**現金書留**により徳島学習センターにお送りください。

※希望者多数の場合は窓口での申請者を優先します。

※登録できなかった科目の授業料は返送費用を差し引いた金額を返金します。

■追加登録の注意点■

・お電話での申請は受け付けておりません。必ず窓口か郵送での申請をお願いします。

・追加登録は、代理人による登録も可能です。受講する本人の学生証をご持参ください。

・郵送の場合、郵送している間に満席になることも考えられます。その場合は返金となりますことをご了承ください。なお、返金は、返送費用を差し引いた金額です。

・大学院生は申請できません。また、一度単位を取った科目、日程が重複している科目も申請できません。

◆大学院生や一般の方でも授業を聴講することができる制度として、「共修生」制度があります。試験・レポート等の義務はありませんし、単位も付与されません。**受講料は授業料と同額**。受講には条件がありますので、開講する学習センターへお問い合わせください。

通信指導について

通信指導を提出しなければ単位認定試験の受験資格は得られませんので、必ず期限内に提出してください。

通信指導問題は、印刷教材と一緒に大学本部（千葉市）よりご自宅に送付されます。発送状況については【システムWAKABA】で確認いただけます。

通信指導問題が**11月6日**までに届かない場合は大学本部（TEL：043-276-5111）へお問い合わせください。

	郵送	Web
提出期間	2023年11月15日（火） ～2023年11月29日（水） 本部必着 ※提出期限を過ぎたものは受理できません。	2023年11月8日（水）10:00 ～2023年11月29日（水）17:00 ※パソコン・ネットワークのトラブルにより間に合わなかった場合でも未提出扱いとなります。余裕をもって取り組んでください。

	郵送	Web
提出状況の確認	郵送での提出状況は、Web通信指導の提出状況表示には反映されません。システムWAKABAにてご確認ください。 目安として12月6日頃までに全ての科目が「受理」と表示されます。	Web通信指導のトップページ画面において、科目一覧の各科目の欄内に「提出済（送信済）」と表示されます。システムWAKABAの画面は、目安として提出（送信）した日の翌日か翌々日に「受理」と表示されます。
自習型問題の解答・解説	☆通信指導の答案を期限までに提出した方には、自習型問題の解答・解説が送付されます。 <u>12月26日頃までに届かない場合は大学本部へお問い合わせください。</u>	
評価	<p>提出された答案は添削され、結果を送付します。この結果で、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。</p> <p>添削結果返送時期： 2023年12月末～2024年1月上旬</p> <p>☆択一式は1月5日、記述式は1月12日までに添削結果が届かない場合は大学本部にご連絡ください。</p>	

☆受験票は、添削結果より前に届くことがあります。

単位認定試験について

2022年1学期より単位認定試験はWeb受験方式（一部の科目は郵送受験方式）にて行っております。

試験期間中は、24時間いつでもご自宅等で、受験することができます。

- ◆ 郵送受験の科目【「正多面体と素数（‘21）」「日本美術史の近代とその外部（’18）」「量子化学（‘19）」】については、パソコン等は使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。

自宅での受験が困難な方の学習センター受験について【要申請】

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情により、自宅等でのWeb受験が困難な方は、次の様式・期間・宛先に申請の上、学習センター等で受験できます。

受験時に自分で操作できるように、必ず体験会に参加してください。

- ◆申請様式◆ 学習センター受験申請書
(印刷教材に同封)

- ◆申請期間◆
2023年10月1日（日）
～11月24日（金）必着

- ◆申請宛先◆
〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11
放送大学学務部学生課 単位認定試験係

モバイル端末での受験について

モバイル端末（タブレット、スマートフォン）でも基本的には受験可能ですが、文字のサイズやレイアウトが機種によって異なりますので必ず、受験に使う機材で体験版を操作し、解答提出ができるか確認しておいてください。

単位認定試験体験版

Web単位認定試験の提出までの操作を体験していただける、「Web単位認定試験体験版」を公開しています。解答提出までの操作方法や、ご自身の受験環境での動作について確認するために、あらかじめ体験版で操作してみてください。

単位認定試験

操作体験会のご案内

12月・1月に学習センターで単位認定試験操作体験会を開催します。

- ◆センターで受験される方は必ず体験会にご参加ください。

- ◆自宅での受験に不安がある方も参加いただけます。

ご希望の方は電話、FAX・メールにてお問い合わせください。



初代所長を務めた時を振り返って

初代所長 河野 清

徳島学習センターの機関紙「よしの川」が100号を迎えられますことお慶び申し上げます。

徳島学習センターは平成10年4月に県が設置母体となり徳島市郊外の川内町平石住吉にある(株)徳島健康科学総合センターの2階に事務室と視聴覚室兼図書室を予定して、自前の教室のない全国で一番狭いセンターとして発足しました。事務室長が主体となって調度・備品を整え、学生募集については7月4日の郷土文化会館での公開講演会の機会にPRし、所長を先頭に入学願書を持って県内を車で回って、活発な広報活動を行いました。

徳島学習センターの開所式と記念パーティはホテルクレメント徳島で9月22日台風が心配される中で実施でき9月27日には新入生228名中70名が出席して、「入学者の集い」を教室予定の集会室で行い学生対象の業務が始まりました。

10月1日付で職員2名が採用されて8名体制となり、12月発行の機関紙の準備も始めました。まず誌名に関し全員で相談し、県内を悠々と流れる吉野川で一致し、特徴を出すため平仮名を使い「よしの川」と決定しました。所長一任となっていた題字は、外部への依頼のために必要な見本を、中学時代3年間書道を習った妻が書いて作り、相談のためにセンターへ持参したところこの題字で十分と採用された次第です。翌年から年4回センターの情報を発信し、内容を充実しながら100号を迎えました。

面接授業は大学の講義を身近で体験し、直接質問できるので、学生が期待しており、客員教授や非常勤講師の人選には特に配慮しました。また、語学力向上のため英語専門の客員教授を常置して英語ゼミの開催、外国人講師による面接授業も行い、これが契機となって平成11年10月に英会話サークルが発足しました。これに触発され12月にはパソコンと俳句のサークルも結成されています。同時期に88名参加の徳島学習センター学友会が設立され、吉川学長から設置許可証が届き承認されました。

専用の教室を持ちたいとの要望が高まる中、本部と徳島大学との交渉が進み、徳島県の賛同も得て平成13年9月に市内常三島の徳島大学工学部建設棟へ移転できて他センター並みの広さとなり職員一同安堵しました。学習相談やサークル活動もこれまでより容易となり、通学の利便性が改善されて以後の入学者数の増加に繋がりました。

平成14年10月22日、放送大学と土木学会四国支部の共催で、丹保(たんぼ)学長による「21世紀の水環境を考える」と題する特別講演会を工学部共通講義棟6階の創成学習スタジオを借りて実施しました。230名ほどの参加者で満席の中、放送大学の紹介に始まり、2時間余りの講演と、活発な質疑応答が行われ、初めての共催が大盛況だったのを懐かしく思い出します。

3月中旬の日曜日東京ベイNKホールとヒルトンホテルでの学位記授与式と祝賀・謝恩パーティに平成13年と14年の2回出席しました。パーティでは徳島から参加のそれぞれ3名と8名の方々と親しく歓談でき、丹保学長を囲んで写真を撮ることができました。忘れられない一生の思い出になりますので、学位記授与式への出席をお勧めします。

橋爪所長のもと、徳島学習センターのますますのご発展をお祈り申し上げます。

私にとっての放送大学の存在価値

～「よしの川」第100号記念にあたり～

第三代所長 中條 信義

私が「よしの川」に、就任あいさつを執筆したのが2008年4月(第38号)でした。じつは、放送大学の存在を知ったのは、河野 清・初代所長が私の部屋に来られたからでした。しかし、この訪問していただいた年月日は不明ですが、徳島学習センターが学生を受け入れたのが1998年10月でしたので、少なくとも1999年から2000年の間のご訪問であったでしょう。丁度、私が歯学部附属病院長でもあったので、看護婦さん達に放送大学を紹介させてほしいとのご依頼からでした。その時に私は、放送大学の存在を初めて知り、「私を入学させてください」とお願いしたことが記憶にあります。当時、ある学生の自殺を思い止まらせることができなかったことの後悔があって、臨床心理学を学びたいと考えていたからでした。初期の徳島学習センターは、川内町にあった「一太郎」で有名なジャストシステムの会社の近くのビル内にあったと記憶していますが定かではありません。当時の学習センターは現在と同様に月曜日は閉所し土・日曜日も開所しておりました。違うのは、夜間の8時30分まで利用可能な快適な環境でありました。このような学習環境は、私や社会人にはうってつけの大学でした。

また2003年4月徳島大学大学院人間・自然環境研究科に臨床心理学専攻修士課程が新設されました。これが、また幸運にも夜間大学院であったのです。4年間の病院長職を退いた2004年3月に徳島大学・大学院を受験しました。残念ながら一度は不合格でしたが2度目の挑戦で無事に合格しました。これは放送大学で臨床心理学系の単位修得を継続していたからだったと思います。振り返ると、この時に社会人が勉学するのに最適な大学であることを知ったのでした。私は、現職のままで徳島大学の学生でしたので大学院は3年履修の届を出し2007年無事に大学院を修了いたしました。

その後、2008年に臨床心理士資格試験(大学院修了が受験資格条件)に合格、2018年9月9日に第1回公認心理師の国家試験が実施されました。放送大学での勉学を継続していましたので、これもお陰で無事に合格できました。以上のような時を経過しても臨床心理学関連の仕事は今も続けられているのは放送大学のお陰だと思えます。今も放送大学の学生ですが、年々診察券が増えていく年齢となり単位認定試験の不合格も経験しはじめています。しかし、放送大学では、一流の教授陣による講義も受けることが可能ですし、自分のペースで関心のある学問分野の学習も可能です。もちろん修士・博士課程の大学院もあります。さらに番外編ですが私は、放送大学で知り合った学友たちと退職後10年も続く読書会で楽しい時間を共有できているのです。これも放送大学があつての老後の楽しみ方でしょう。



豊かな実りを育む

「よしの川」100号を記念して

第四代所長 大西 徳生

この機関紙「よしの川」の名前は、放送大学徳島学習センター開設10周年記念誌によると、初代所長の河野清先生が、多くの支流から絶えず新しい水を加え、この豊かな水量で流域の人々や動植物に潤いをもたらしながら悠々と流れる吉野川の流れをイメージして名づけられました。

徳島学習センター(SC)は、平成10年4月に川内町の(株)徳島健康科学センターに開設され、10月には228名の新入生を迎えてスタートしました。その後、平成13年10月には徳島大学工学部に移転し、703名の学生を受け入れ、さらに平成18年4月には徳島大学日亜会館に移転して800名以上の学生が学ぶ場となりました。その後は人口減少に伴い徐々に学生数が減少して600名程度になりましたが、徳島 SC の特徴としては、学習意欲の高い学生が楽しく学び続ける姿があります。

このことについて、「よしの川」の原稿で、私を感じ記事にしたいいくつかを紹介します。

第70号では、徳島 SC の平成27年2学期の学生数は683名で、全国平均の学生数を人口比で算出すると535人と比べて多くの学生が在籍し、学位取得率も全国平均の2倍と高いことを紹介しました。現在でも、今年で100歳となる清水ゲン市さんをはじめ卒業後も学びを続けられている学生が多くいることからもうなずけられます。そして、このことが名誉学生につながり、すでに10名もの名誉学生が出ていることにも現れています。

第64号では、自宅のみかんの木の剪定についての記事では、剪定によって作業効率や将来の収穫量に違いが出ることから、学びたいときに学ぶ『今が旬』の姿勢が大事であることを述べました。また、第58号では大学を退職し所長に就任したとき、限られた時間を有効に活用する姿勢としての『愛惜時間』の言葉も学生の皆さんと共有しました。

年齢を重ねる中で、自身の能力の変化や時間の大切さについて感じますが、NHK ラジオの深夜便のうたに、ダカーボが最近作曲した『今日がいちばん若い日!』があります。共感できることが多い曲ですので、YouTubeでも聴いてみてください。

私は、上記の二つの言葉や、この曲の作詞内容とも関連する相田みつを氏の名言『一生燃焼、一生感動、一生不悟』を座右の銘とし、趣味のものづくりを楽しんでいます。

「よしの川」は日常の学習活動だけでなく、所長や客員教員の視点からの巻頭言も掲載され、読者のリフレッシュや目標達成への発展を応援しています。学生の皆様の発展と、その学びの場としての徳島学習センターがますます発展することを祈念しています。

徳島学習センター開設20周年を経て

コロナ禍でのZoomゼミ

第五代所長 石川 榮作

2018(平成30)年4月から2022(令和4)年3月まで所長を務めさせていただきました。所長に就任した年は、ちょうど徳島学習センター開設20周年で、11月には記念式典と公開記念講演を開催することとなり、最初の年から重責を果たさねばなりません。公開記念講演会では來生新(きすぎ しん)学長による「教育と通信制度—高等教育における教養教育、職業教育の歴史とメディア—」のあと、所長の私が「板東俘虜収容所—ドイツ俘虜たちとベートーヴェン『第九』—」と題して講演をすることとなり、しかも私の講演は、本部制作部企画の『『第九』公開講座セレクション』シリーズに組み込まれて、テレビ収録されることになりました。テレビ番組制作となると、記念講演だけでは不十分だと思い、その年の学長裁量経費プロジェクトでは「ベートーヴェン『第九』による「ふるさと創生」プロジェクト」というテーマで、6回シリーズの催し物を実施しました。すると、制作部はそれらをも収録して、「徳島学習センターめぐり」も制作する方針を打ち出しました。こうして1年目には「大学の窓、徳島学習センター20周年記念講演会」と「公開講座セレクション、第九を学ぶ—初演から100年、ドイツ俘虜たちと第九」のほかにも「徳島学習センターめぐり」のテレビ番組を制作していただきました。慌ただしい毎日でしたが、充実した1年目でした。

この経験から自信も出てきて、2年目も学長裁量経費プロジェクトでは晩年を徳島で過ごしたポルトガルの文人モラエスを取り上げて、6回シリーズで地域の人たちとともに「ふるさと創生プロジェクト」を実施して、有意義な毎日を過ごすことができました。この調子で3年目もさらに充実したプロジェクトの企画を考えていましたが、予期せぬコロナ禍に見舞われ、面接授業をはじめ各種イベントやゼミなども中止にせざるを得なくなり、不毛の年になってしまいました。4年目は、これではいけないと思い、コロナ禍を逆手にとって、Zoomを活用したベートーヴェン特別ゼミを企画し、対象の学生を徳島学習センターだけではなく、全国の学習センターに広げたばかりではなく、全国の一般人をも対象にして、1年間のうちに49回の「Zoomを活用したベートーヴェン特別ゼミ」を実施しました。パソコン操作が苦手な私にとっては大変な毎日でしたが、努力を重ねて、持てる力を200パーセント以上も発揮できて、よい経験になりました。所長退任後には、スペシャル講演「ベートーヴェンの人生哲学」をもテレビ番組にしてください、その副題のとおり、「苦悩を超えて歓喜へ」迎り着くことができました。『第九』はベートーヴェンが「9曲」の交響曲を経てやっと迎り着いた「究極」の名曲であるということを確認した私の所長4年間でした。



放送大学25年生

徳島同窓会顧問 篠原 一二三

放送大学徳島学習センター開設25周年誠におめでとうございます。

私は、徳島学習センターが開設され、開設からずっと在籍しているので25年生になります。放送大学在学25年間の詰まった袋を開けると色々なことが現れ楽しい思い出が湧き出てきます。

履修関係では全6コース卒業、大学院も修了できました。頑張った褒美として、千葉やNHKホールの卒業式に出席し、ミニ東京探訪もしてきました。

同窓会関係では、副会長10年、会長5年をさせていただき、現在は顧問をしています。全国同窓会の理事になって、NHKホールの卒業式の会場責任者になり、びびったことも懐かしい思い出です。

最初のセンターは、川内町の健康科学総合センター内にありここでの面接授業が強烈に記憶に残っています。あたりはレンコン畑、芋畑が広がるのどかなところでしたが学生はみんな意欲に燃えて輝いており、休み時間には飴やお菓子を分け合い、勉強の仕方、試験対策、情報交換をしました。

履修方法も最初はセンターでのビデオ・カセットの貸し出しから始まり、スカイパーフェクトTVでも視聴できるようになり、自宅で視聴や録画もできるようになって今からすると隔世の感があります。

研修旅行も楽しみの1つで、特に大阪の「USJ」が特におもしろかったのですが、そのほか色々なところに行き学友とさらに絆を深めることができました。

このような私の放送大学25年間の袋に詰まった経験、体験も放送大学の制度があったこそであって、得がたきことと、ありがたく思っています。橋爪所長様はじめ歴代各所長様、職員の皆様方には大変お世話になりましたことを感謝しております。

さらに次の30年生になれるよう努力します。

「よしの川」は学生生活と共に

徳島同窓会会長 柳本 聖

機関誌「よしの川」第100号発刊おめでとうございます。25年の足跡が偲ばれます。

徳島学習センター発足1年半後の2000年4月、私は徳島市川内町ブレインズパーク内徳島健康科学総合センターの放送大学徳島学習センター講義室で入学式に臨みました。時代の先端をいく大学にふさわしくスタイリッシュな建物に通うことを考えると「さあ、これから」という気持ちが湧いたことを記憶しています。その頃友人と呼べるような知り合いは誰一人いませんでしたが、訪れるたび何時も静粛な中にも学習に対する熱気と学生の活気を感じる事が出来ました。それから23年間私の学生生活は「よしの川」と共に歩んできたのかもしれない。その間学習センターも徳島大学工学部、徳島大学日亜会館と拠点を移しましたが、自身同窓会に入会し「袖振り合うも多生の縁」、大勢の方々と知り合いになる事が出来ました。

今思いますと残念な事に対象シーズンが終わるごとお役御免にしまい、最近の3年分くらいしか手元になく、読み返す事が出来ません。これを機にと学習センターに保存されている「よしの川」を何冊か見せて頂きました。お知らせの中には、カセットテープ貸し出し時の注意事項、キャンパスネットワークの使用法、単位認定試験の部屋割りの記事等々が、そして学生のコーナーには懐かしいお名前が沢山。一気に15年、20年前が甦りました。「よしの川」には当時の学生生活が詰まっていました。

徳島学習センター機関誌「よしの川」、徳島同窓会会報「まゆやま」、徳島同窓会ホームページ「青藍」はいずれも徳島を代表する風景です。何時までもこの美しい風景と共にそれぞれが末永くつながっていくことを望んでおります。学習センターの活性化に向けて取り組みを推し進められる中「よしの川」が150号、200号と続きますことを祈念いたしまして第100号発刊のお祝いの言葉とさせていただきます。

機関紙「よしの川」の主な変遷

1999年1月号(第1号) 発刊 モノクロ学習センターで印刷・丁合。表紙には吉野川に架かる橋の写真。

2002年4月号(第14号) 題字に罫線を加える。放送大学のロゴマーク挿入。

2003年10月(第20号) 一部ページをカラー印刷に

2007年4月(第34号) 印刷をコピー機で行う。(両面印刷が可能に)

2009年1月(第41号) マスコットキャラクター「まなびー」初登場。

2009年10月(第44号) 吉野川に架かる橋

の写真はこの号で最後となる。

2010年7月(第47号) 新しいロゴマークを掲載。

2012年4月(第54号) 印刷を外注開始。

2023年4月(第98号) タイトルデザイン・紙面構成変更。ご当地まなびー・QRコード掲載。



所長・客員教員のご紹介 & ゼミのお知らせ

教員名	研究分野	相談日時	ゼミ
橋爪 正樹 徳島学習センター所長 徳島大学名誉教授	電子回路工学	随 時	「 新社会におけるエレクトロニクス 」 第1 金曜日 14:00～15:30 創られようとしているソサイエティ5.0という社会におけるエレクトロニクスについて学びます。(PCを使用します)
川野 卓二 徳島大学名誉教授	行動統計学	水 曜 日 11:00～ 14:00	「 行動統計学 」 水曜日 11:00～12:30 データの分析・理解に役立つエクセルを活用した統計法を学びます。(PCを使用します) *週は不定期のため、HPなどで確認してください
奥嶋 政嗣 徳島大学大学院教授	土木計画学 交通工学	第1・3 木 曜 日 10:00～ 12:30	「 地方都市の交通計画 」 第1 木曜日 10:30～12:00 地方都市における交通計画の考え方とともに、これからのモビリティ社会について学びます。
山下 留理子 徳島大学大学院 特任教授	在宅看護論 公衆衛生看護学 災害看護学	第2・4 火 曜 日 13:00～ 16:00	「 暮らしを支える看護学 」 第2 火曜日 14:00～15:30 暮らしの場において質の高い生活を主体的に継続する看護、災害・感染症などの危機に備えた看護の役割について学びます。 *月によっては変更があるためHPなどで確認してください
山内 暁彦 徳島大学大学院 准教授	英米文学	金 曜 日 10:00～ 11:30	「 古今東西の風刺文学 」 第2 金曜日 10:00～11:30 古今東西の文学作品における風刺やユーモアについて学びます
塚本 章宏 徳島大学大学院 准教授	空間情報論	木 曜 日 10:00～ 13:00	「 空間情報論 」 第3 木曜日 10:30～12:00 地域・歴史資料をGIS(地理情報システム)によって視覚化し、空間的構造を明らかにすることを学びます。(PCを使用します)
川西 智也 鳴門教育大学大学院 准教授	臨床心理学	第2・4 金 曜 日 10:00～ 13:00	「 コミュニティのなかでの心理支援 」 第4 金曜日 10:30～12:00 学校、児童養護施設、高齢者施設、自助グループなど、様々なコミュニティのなかでの心理支援について学びます。

学 ・学習上の相談(効果的な学習方法・レポートのまとめ方などについて、所長および客員教員が直接相談に応じます。(30分程度))

習 ・学習相談の日程は教員の都合により変更となる場合があります。相談希望の方は窓口、メール、電話などで事務室までお問い合わせください。

相 なお、上記の相談可能日時の中で、ゼミ開催時間以外で予約してください。

ゼ 受講は無料です。

ミ ・事務室受付カウンターにある受講申込用紙にて申し込むか、電話・メールにてお申し込みください。

受 ・急な日程変更や中止になることがありますので、センターHP・センタースケジュールをご確認ください。

講

事務室だより

学生証の期限が切れていませんか？

学生生活の葉【学部】 p.18～【大学院】 p.24～

入学された方、全科履修生で学生証の有効期限が切れた方に学習センター窓口にて学生証の交付を行っています。（単位認定試験受験や面接授業受講、視聴学習・図書室利用等に必要です。）

- 新規入学者は入学許可書をご持参ください。
- 学生証の有効期限が切れている方は旧学生証をご持参の上、新しい学生証と交換してください。
- 顔写真が未登録の方は発行ができませんので写真の登録を済ませて窓口にお越しください。

■郵送による交付申請希望の場合は、

- 1) 「入学許可書」のコピー又は「有効期限の切れた学生証」

- 2) 返信用封筒（封筒に宛名明記、簡易書留料金の切手を貼付。）
- 3) 新規入学者は本人確認のできる証明書のコピー（運転免許証等）

以上を同封の上、学習センターまで送付してください。

■紛失及び氏名変更等の再発行について

「学生証再発行願」（「学生生活の葉」巻末にある様式8、大学院は様式7）にご記入の上、ご持参ください。再発行時のみ手数料500円が必要です。



証明書の発行

学生生活の葉【学部】 .97～【大学院】 p.92～

各種証明書の発行を行っております。

「学生生活の葉」巻末にある様式9、10（大学院は様式8、9）に必要事項を記入の上、事務手数料（1通200円）を添えて、学習センター窓口までお申し込みください。

「諸証明書交付願」はシステムWAKABA>キャンパスライフ>各種届出・申請様式からダウンロードできます。

なお、発行までに1～2週間を要する証明書もありますので、十分に余裕を持って請求してください。

■郵送による申請希望の場合は、

- ①諸証明書交付願
 - ②現金書留
又は郵便定額小為替証書（1通200円）
 - ③返信用封筒（長形3号型封筒に宛名明記、84円切手を貼付。2通の場合は94円切手。）
- 以上3点を同封の上、学習センターまで送付してください。

単位認定試験問題・解答等の公表

学生生活の葉【学部】 p.72～【大学院】 p.74～

2022年度第2学期・2023年度1学期の単位認定試験問題（全科目）と解答（一部）・解答のポイント等は、右記の期限迄システムWAKABA「学内リンク」（トップページ右上）にて掲載するとともに、視聴学習・図書室にて公表（閲覧のみ・撮影可）しています。

2022年度第2学期

公表期限：2024年2月16日（金）まで

2023年度第1学期

公表期限：2024年8月16日（金）まで

学割証（学生旅客運賃割引証）の発行

学生生活の葉、学習センター「利用の手引き」

全科履修生及び修士全科目・博士全科目のみが対象となるJR（乗車券・回数券）の割引証です。（授業を受けるために、自宅から学習センターまたは大学本部に通学する場合などに使用できます。）

詳しくは、徳島学習センター発行の「利用の手引き」（p.10）および「学生生活の葉」（学部 p.122～、大学院p.115～）をご確認ください。

2024年第1学期から面接授業でBYOD(個人端末の持ち込み)が始まります。

本学では教育DXを推進しており、自宅受験を可能とする Web 単位認定試験の導入や、オンライン授業やライブ Web 授業の拡充等を進めています。その一環として、学内のパソコンを使用してきた面接授業においても、ご自身のパソコン等を持参して受講いただく方式 (BYOD: Bring Your Own Device) の面接授業を展開する予定です。これにより、普段使い慣れたご自身の端末で効率よく受講でき、また授業で学んだことを自宅等で同一の端末で復習することも可能になり、より高い学習効果が得られることが期待されます。そのため、2024 年度第 1 学期以降、面接授業のうち受講の際

にパソコンを必ず使用していただくものに関しては、原則としてご自身のノートパソコン等を持参して受講いただくようになります。受講者がパソコンを使用しない面接授業については、これまでと同様に開設いたします。

なお、どの科目がノートパソコン持参で受講していただくことになるかなど、より詳しい情報は 本年10月頃にご連絡します。また、必要となるパソコンの性能やソフト等は、来年1月上旬に公開予定の各科目のシラバス(授業概要)をご確認ください。

2024年第1学期から、全科履修生の卒業要件が変わります。

○新しい卒業要件では「授業形態に係る卒業要件」に占める「授業形態を問わない単位数」が増え、科目登録の選択肢が広がります。

○現在、全科履修生に在籍中の方(2023年度第2学期末に学籍が切れる方を除く)も、カリキュラム移行の手続きを行うことで、新卒業要件の適用を受けることができます(2023年10月20日から12月7日まで)。

※手続き詳細は大学本部から送られている「全科履修生の卒業要件が変わります」の書類をご覧ください。

※ 引き続き現在の卒業要件の適用を希望する場合は手続き不要です。

「よしのがわ」の配布方法についてのアンケート集計につきまして

8月のパソコン講習会の出欠のお返事と合わせてお答えいただきましたアンケートの集計結果です。

郵送された印刷物	59人
紙媒体の郵送不要	8人
印刷物とHPの両方	6人
学習センターHPで	1人
全く読んでない	1人
回答なし	15人
合計	90人

「紙媒体の郵送不要」と回答いただいた方がいますが、今号は大事なお知らせもありますので郵送させていただきます。ご了承ください。

システムWAKABA

パスワードの変更してください。

システムWAKABAのパスワードは不正利用を防ぐため、**必ず初期パスワードを変更**してください。一定期間経っても初期パスワードを変更していない場合は、ログインできなくなります。



駐車場について

徳島大学本部駐車場は職員専用の駐車場となっており、**学生の利用はできません。**

ゼミや学習相談、視聴学習・図書室での学習などで学習センターを利用する際は、**必ず、公共交通機関または近隣の有料駐車場を利用してください。**自転車やバイクを利用の方は日亜会館南側駐輪場を利用してください。(土・日曜日は利用可能です。)

2023年度の学生研修旅行について

2023年度の学生研修旅行の開催は中止といたしました。

期待いただいていた皆様にはお詫び申し上げます。

図書室だより

視聴学習・図書室の利用時間

火曜～金曜 10:00～18:00

土曜・日曜 9:30～17:30

※月曜・祝日及び

年末・年始（12月29日～1月3日）は閉室

◎入室の際にカウンターへ学生証をお預けください。

◎貴重品以外、学習に必要なない手荷物はコインロッカー（100円・使用後返金）へお預けください。

視聴学習・図書室ご利用の際のご注意

学習センター図書室内の図書・DVD・CDは、室内でのみ閲覧・視聴することができます。貸出はできません。図書の貸出は附属図書館、放送授業DVD/CDの貸出は本部で一括して行いますので、カウンターへご相談ください。

なお、2019年以降に新規開設された科目のDVD/CDは配架されていません。学習される際は室内にある専用端末からインターネット配信で視聴してください。

・室内では録音・撮影・資料複製は固くお断りいたします。

・携帯電話・スマートフォン・電子辞書などの電子機器は音の出ない設定に切り替えてください。通話はラウンジにてお願いします。

・図書資料の複写をご希望の場合は「文献複写申込書」にご記入のうえ、複写したい図書資料とともにカウンターへご提出ください。（複写にあたっては一部制限があります）

・視聴の手続きは閉室時刻の45分前までに申し込みください。

◆資料整理や機材の調整などで臨時閉室することもあります。その際は学習センターHPにてお知らせいたします。

◆毎月20日前後に、翌月の「図書室だより」を発行しております。ご利用ください。

センター内で 放送大学のWi-Fi(WiFi-houdai)が利用できます。

学習センター内で個人のパソコン・スマートフォン・タブレットのWi-Fi接続が可能です。

次の手続きが必要ですので事前にご準備ください。（当日にID、パスワードの発行はできません。あらかじめ申請が必要です。）

ゼミでPCを使う機会も増えてきております。ご自分のPCを持ち込んで受講される方は、このWi-Fiをご利用ください。



【利用方法】

1) 情報セキュリティ研修（システムWAKABA→放送大学自己学習サイト→情報セキュリティ研修）を受講してください。研修中の小テストに合格すると「修了証」が発行されます。

2) 上記「修了証」をプリントしたものと、必要事項を記入した「無線LAN利用申請書」（図書室カウンターにて受領）を、図書室カウンターへ提出してください。後日「無線LAN利用許可書」が発行されます。
※「修了証」の提示がない場合は、申請を受理できません。

3) ご自分のPC等の設定画面で「無線LAN利用許可書」に記載されているSSIDに接続し、記載されているID・パスワードを入力してインターネットに接続します。（接続は各自で行ってください。）

◆「放送大学セキュリティガイドライン」には一般的な事項として、「交付された初期パスワードはすぐに変更しましたか？」との記載がありますが、センターのWi-Fi接続に係るパスワードは変更できませんのでご注意ください。

◆県外の学習センターでも、同じIDおよびパスワードを使用してインターネット接続が可能です。（一部の学習センターを除く。）

“まなびの森” 講演会について

2023（令和5）年度 後期講演内容

※要予約※

◎時間 13:00～15:00 ◎場所 徳島県立図書館 3階集会室1

◎定員 各30名（開催1ヶ月前から参加申込を受け付けます。定員になり次第締め切ります。）

◎参加費 無料

10月21日（土）	歴史から考える日本のジェンダー問題 –ヒロインの視点– とくしま学博士 大森 美知子
11月18日（土）	生成AIとの付き合いかた 徳島大学デザイン型AI教育研究センター長・教授 石田 基広
12月10日（日）	四国八十八ヶ所霊場の古文書を読む–阿波の札所寺院を中心に– 四国大学文学部日本文学科教授 須藤 茂樹
1月27日（土）	《虹は何色か？》–権威主義を乗り越えた人びと– 四国大学生生活科学部児童学科教授 小野 健司
2月17日（土）	高齢期を心豊かに生きるために –老年心理学から見えること– 徳島文理大学人間生活学部 教授 渡邊 悟
3月16日（土）	人はなぜ逃げ遅れる？ インクルーシブ防災の取り組み 徳島大学大学院社会産業理工学部 講師 金井 純子

【申込先】※各講演会開催1ヶ月前から。

☎ 088-602-0151 放送大学徳島学習センター

☆「まなびの森講演会」の様子☆



7/15 「阿波の名医 三宅 速」



8/19 「二つの顔を持つ『三郎』と『十郎兵衛』」



9/16 「板東俘虜収容所でのベートーヴェン劇音楽・・・」



同窓会 だより

リスキリングに挑戦

—パソコン講習会（パソコンお悩み相談会）—

8月5日土曜日午後1時から2023年度第1回徳島同窓会主催パソコン講習会（パソコンお悩み相談会）が開かれました。参加申込者22名、在学生1名の方と同窓会会員4名のサポーター、そして学習センターの教職員の方々のご協力で無事開催することが出来ました。

この講習会は昨年度に同窓会会員を対象とし、パソコン操作に不慣れな方が、同窓会からのお知らせをメール等で受けられるように支援したり、年々WEB形式に移行してゆく放送大学の事務手続きや試験に対して前向きに取り組めるようにすることを目的として開催しました。その際お手伝い下さった橋爪学習センター所長から「多くの学生がこのような勉強会を必要としている」とお声かけいただき学習センター共催の下、在学生、同窓会会員を対象として開催する運びとなりました。

今回のお悩み内容は①学習センター内Wi-Fi環境を利用出来るようにID取得の申請②Zoomの利用と主催の仕

方③図書館への書籍申し込み等でしたが、参加者それぞれが学習や授業への取り組みのために習得したいという目的を持って積極的に取り組まれました。

学習センターの教職員の方々も前もってID申請の為の情報セキュリティ研修用パソコンやZoom会議用のスケジュール予約等色々な準備をして下さいました。多くの方にお申し込みいただき、同窓会サポーター側が手薄になるなどすべてが上々に運んだわけではありませんが、これも教訓として今後に繋がられたらと考えております。また、在学生の方がサポーターに回って下さるとい嬉しい誤算もありました。今回教わる側だった方が次回教える側に立っていただき次々と輪が広がることを期待しております。今年度第2回は2024年2月頃に開催を予定しています。

まずは多くの方にお手伝いいただき、盛会に終わりましたことにお礼申し上げます。



同窓会の方が参加者により添ってサポート。



所長を中心にZoom体験のコーナー

公開講座 のようす

9月9日(土) 美波町立日和佐公民館にて公開講座を開催しました。



第1部 川西智也先生による講演「認知症の理解と予防・付き合い方」

第2部 同窓会の方たちによるパソコン講習会



スケジュール

【2023年10～12月】

10月

■ は 閉所日

2023年 10月



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1	日	第2学期 入学者の集い 第2学期 放送授業開始
5	木	第2学期 オンライン授業開始
6	金	単位認定試験課題提出期限(司書教諭)
9	月	閉所日(スポーツの日)
14	土	第2学期面接授業空席発表 面接授業(内山先生)
15	日	面接授業(内山先生)
19	木	第2学期面接授業追加登録
21	土	面接授業(Tran先生、板東先生)
22	日	面接授業(Tran先生、板東先生)
27	金	大学院入試第1字選考可否通知
28	土	面接授業(川内先生)
29	日	面接授業(川内先生)

2023年 11月



11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

1	水	2023年度卒業研究提出期限
3	金	閉所日(文化の日)
4	土	大学院入試 第2次選考(博士) 面接授業(高原先生)
5	日	面接授業(高原先生)
8	水	(Web)通信指導提出開始(~11/29)
11	土	面接授業(甲田先生) 大学院入試 第2次選考面接(修士)
12	日	面接授業(甲田先生) 大学院入試 第2次選考面接(修士)
15	水	(郵送)通信指導提出開始(~11/29)
18	土	面接授業(芥川先生、構先生)
19	日	面接授業(芥川先生、構先生)
23	木	閉所日(勤労感謝の日)
25	土	面接授業(山下先生、宮本先生)
26	日	面接授業(山下先生、宮本先生)
29	水	通信指導提出締切日 (Web 17:00まで/郵送必着)
30	木	成績通知発表(司書教諭)

2023年 12月



12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2	土	面接授業(南川 慶二先生、南川 貴子・岩瀬先生)
3	日	面接授業(南川 慶二先生、南川 貴子・岩瀬先生)
9	土	面接授業(田中先生)
10	日	面接授業(田中先生)
16	土	面接授業(峪口先生、石田先生)
17	日	面接授業(峪口先生、石田先生)
22	金	大学院入試第2次選考可否通知
29 ~ 1/3	金 ~ 水	閉所日(年末・年始)

★センターの臨時閉所、センターの行事の急なお知らせは表紙の右上に掲載しているQRコードから学習センターHPにアクセスしてください。

★ゼミの開講についてはセンタースケジュールを確認してください。

センタースケジュール



システムWAKABA

